

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	三の倉市民の里		文化会館	学習館
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団		(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	人と自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図るとともに、広く市民の生涯学習を推進するための宿泊研修施設。		市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るための施設。	市民一人一人の学習・文化活動を支援促進するとともに、生涯学習に係る事業の有効的な実施の推進を図ることにより、市民文化の向上に寄与するための施設。
報告書類等の提出状況	良好		良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	48,839,720	208,771,159	149,080,944
	内利用料金収入	6,545,910	27,328,787	11,843,350
	内指定管理料	39,970,000	102,800,000	115,129,000
	支出	47,455,500	200,722,479	140,392,933
	収支	1,384,220	8,048,680	8,688,011
市民利用者の声の反映	良好		良好	良好
全体的評価	良好		期待以上	期待以上
	・小学校の受け入れを順調にスタートさせ、野外授業に対応するサービスを充実させて新たな利用者を獲得した。 ・父親が積極的に参加できるようなイベントを多数開催し、家族間交流をこれまで以上に盛んにした。 ・利用者が安心して自然と触れ合えるよう敷地内の里山空間を地元の人の協力を得て点検、整備した。 ・市民との協働活動が定着し、いつでも遊学実行委員からは施設運営の今後についても意見をもらい利用者の拡大を図っている。		・開館30周年周知事業を積極的に開催した。 ・電話回線の増設や、クレジットカードの追加導入など、利用者の利便性を改善することができた。 ・外部の助成事業を積極的に活用し、指定管理料以外の収入源を確保することにより事業を実施している。 ・幅広いジャンルに亘り様々な事業を展開している。 ・文化会館に来られない人にも文化芸術に触れる機会を提供する鑑賞のバリアフリーを目指して、公民館での音楽会や演芸サロンを開催し定着させた。小学校、中学校へのアウトリーチ事業、地域で楽しめる音楽会や演芸会など文化会館以外での事業や子育て中の人には託児サービスを行うなどの普及啓発事業も推進している。 ・新企画「ことばの劇場」を開催し、予想以上の反響があった。 ・高位安定した運営ができており、実績についても満足できる内容で、期待以上の成果が出ている。	・これまで10社と別々に委託していた維持管理・保守点検業務を、総合的にマネージメントができる1社に一元化し、合理化に努めている。 ・館内の劣化箇所の把握に努め、指定管理者制度導入以後最多となる78項目の修繕・リニューアル工事を実施した。(23年度修繕・整備費総額7,038,076円) 特に23年度は空調設備、消防設備の劣化・故障が目立ったため、その対応を進めた。 ・内装のリニューアルや備品の更新を積極的に実施している。 ・照明の見直しやデマンド管理の徹底により、年間電気使用量が前年比で約10%、電気代が約125万円の縮減となった。 ・文化事業に関する取り組みとして「まなびの散策」「1階フロア事業」「外部との連携事業」「オープンキャンパス」など新しいイベントを積極的に行っている。 ・公民館を統括し、公民館と一体となって、市の生涯学習の推進に大きく寄与している。 ・全体的な施設の運営については良好に行われている。 ・施設維持管理は成熟しており、事業についても先進的に実施されており、期待以上の成果が出ている。
利用人数・前年度比増減率	延べ24,157人 (前年度比4.7%減)		延べ212,637人 (前年度比0.1%減)	延べ105,278人 (前年度比0.4%減)
増減の理由	東北大地震後、レジャーを自粛するムードがあったことで、利用者が減ったと思われる。		とくになし	とくになし

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	図書館・子ども情報センター		旭ヶ丘公民館	市之倉公民館
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団		(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。		地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況	良好		良好	良好
運営・利用状況	利用状況	期待以上	良好	良好
	市事業の実施	良好	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	133,817,838	19,593,270	19,864,540
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	132,500,000	18,902,500	18,805,000
	支出	129,055,777	17,802,103	17,776,455
	収支	4,762,061	1,791,167	2,088,085
市民利用者の声の反映	良好		良好	良好
全体的評価	期待以上		良好	期待以上
	○図書館本館 ・新しい事業として、学習館と連携し多治見を知るためのレクチャー付きウォーキング講座(土岐川と橋・商店街・永保寺)と資料展示を実施した。 ・子どもの読書活動推進活動の委員を通じて、図書館と市内の幼稚園・保育園・小中学校・保健センター・児童館が連携して読書推進事業を実施できるようになった。 ・重点収集している陶磁器関連資料と多治見の地域資料の書架を来館者の目に留まりやすい場所に置き、利用者に地域資料の提供をアピールできた。 ・「福袋」「おみくじ」等、季節性のあるイベントを通して、普段読まない分野への読書案内や、家庭での親子読書の提案ができた。 ・リライトカードを導入し、貸出人数も貸出冊数も増加しており、期待以上の成果をあげることができた。 ○子ども情報センター ・多治見北高等学校影絵上演 - 多治見北高校の生徒さんより、文化祭で取り組んだ影絵を上映したいと申し出があり、活躍のお手伝いできた。 ・たじみオープンキャンパスU-19 - 学習館主催の「オープンキャンパス」事業の中で、19歳以下のアドバイザーが講座を開催できるようにサポートした。 ・部活サポートシリーズ - 写真部と陸上部を開催し、中高生の部活動の取り組みの一環とすることができた。 ・わくわく親子講座 - わくわく親子講座と題して、2ヶ月から1歳前後の赤ちゃんとその母親が参加できる講座「ママビラティス」「ノックノックえいごのとびら」を開講し、大好評、新規登録などの利用促進もなった。 ・貸出人数は、前年比125%、貸出冊数は、前年比122%となりました。どの年代も伸びており、事業との連携で期待以上の成果をあげることができた。		・様々な問題を抱える地域の中で頻発するトラブルに対し、適切に処理している。 ・従来使用が少ない時間帯に新たな講座を企画し同好会に発展させるなど使用者拡大に努めている。 ・地域の小中学校との連携が定着してきている。 ・地域と連携し、新たな事業にも積極的に取り組んでいる。 ・ロビーがない施設なので、ローカギャラリーを開催し、新しい利用者の来館促進につながった。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・講師希望が少なくオープンキャンパス事業は減少しているが、独自の企画で新たな使用者の獲得に努めている。 ・高齢者向けの「ひだまり健康大学」が3年目をむかえ、参加者も増加し元気な高齢者が増えてきている。 ・地域の人のための地域の人による「地域主役型ホームページ」を目指し、全国公民館ホームページコンクールで優秀賞(全国2位)に選ばれた。 ・故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・ホームページをただの情報発信だけでなく、コミュニケーションツールとしてうまく運用し、地域づくりに貢献することができた。
利用人数・前年度比増減率	図書館: 延べ169,040人(前年度比2.7%増) 子ども情報センター: 延べ7,996人(前年度比25.1%増)		延べ47,762人 (前年度比9.5%減)	延べ29,637人 (前年度比7.5%減)
増減の理由	図書館: リライトカード導入により、休眠利用者の利用促進に繋がった。 子ども情報センター: 参加型事業の実施により施設の周知が図れ、利用者が増加した。		公民館まつりの来場者減少等による。	
			とくになし	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	養正公民館		南姫公民館	脇之島公民館
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団		(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。			
報告書類等の提出状況	良好		良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	20,863,140	21,429,864	20,420,672
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	19,284,000	20,119,500	18,923,500
	支出	19,620,084	20,299,923	19,111,525
	収支	1,243,056	1,129,941	1,309,147
市民利用者の声の反映	良好		良好	良好
全体的評価	期待以上		期待以上	良好
	・地域関係団体との連携事業を充実させてきている。特に学校とは様々な事業を展開し良好な関係を築き定着させてきた。 ・特色ある事業で新規参加者と男性参加者を増やすことができた。 ・養正元気サロン、ひよこのひろばなど新規交流事業を開催し、定着させることができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・指定管理料が減額になったことにより収入が減少したが、利用者数を増加させ、コストパフォーマンスをアップすることができた。 ・新たな試みとして、公民館モニター制度を実施し、新規利用者を開拓することができた。		・スローライフ事業で自由菜園“菜っぱ会”を立ち上げ、団塊世代対応として好評であった。 ・狙い通り自主的なスローライフ事業の拡大が図れた。(農園倍増1600⇒3200㎡) ・利用団体会議を定期的に開催して団体から要望を聞くとともに、公民館からの注意事項の周知の場としている。 ・利用団体には公民館がバックアップして体験講座を開催させて新規の利用者の獲得に努め実績を上げている。 ・事業の見直しを実施して効率的な事業の推進に努めた。 ・指定管理料が減額になったことにより収入が減少したが、利用者を増加させ、コストパフォーマンスをアップすることができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・地域の特徴を活かした事業が年々広がりを見せており、地域性の高い施設にもかかわらず、市内全域から参加者を募ることができた。	・健康推進委員の指導で「健康サロンわきのしま」を開始し、夕方の時間設定で利用も高まっている。 ・地域のボランティア団体等が中心になっている事業が定着し、“地域に支えられる公民館”となってきた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。
利用人数・前年度比増減率	延べ50,385人 (前年度比1.2%増)		延べ43,368人 (前年度比6.2%増)	延べ27,353人 (前年度比2.3%減)
増減の理由	講座終了後、新規のサークルができていることによる。		講座から同好会への移行がうまく図れたことによる。(6団体発足)	とくになし

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	小泉公民館		精華公民館	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団		(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。			
報告書類等の提出状況	良好		良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	期待以上	期待以上	
	自主事業	良好	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	21,457,580	21,665,880	
	内利用料金収入	—	—	
	内指定管理料	20,396,500	20,710,000	
	支出	20,442,711	20,581,251	
	収支	1,014,869	1,084,629	
市民利用者の声の反映	良好		良好	
全体的評価	良好		良好	
	・地域や青少年まちづくり市民会議との事業が定着してきており、多くの参加者を得ている。 ・文化会館との連携などでコンサートを始め地域の人に好評を得た。 ・趣味の講座は多くの受講生があり、同好会へとつながった。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。		・男性にもっと利用してほしいと願い、男性の興味のある「歴史講座」「庭木の剪定」を開催し、好評であった。 ・若い世代に向けて、未就園児親子対象の講座「子育てヨーガ」を行い親育ち支援をした。 ・幼稚園帰りの未就学児を対象とした「おしゃべりサロン」では、子どもが気楽に楽しめるものを企画した。子どもたちの情緒を膨らます講座となった。 ・利用団体が多く、部屋があまり空いていない状況のなか、協定に定められている事業数よりも多い公民館自主事業を実施している。 ・ギャラリースペースを拡大し、来館者の増加に繋げるなど施設を有効に利用して新規公民館利用者の拡大に努めている。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	
利用人数・前年度比増減率	延べ49,312人 (前年度比0.7%減)		延べ58,770人 (前年度比4.5%減)	
増減の理由	とくになし		定期利用団体が減少したため。	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設(指定公園については、同課及び緑化公園課所管))				
施設名	指定公園及び運動場 ※H23年度指定替えにより笠原運動場・公園追加	体育館	平和マレットゴルフ場	
指定管理者名	株式会社 コパン	株式会社 コパン	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するための施設。	スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	若干不備あり	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	若干不備あり	良好	
	自主事業	若干不備あり	若干不備あり	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	84,659,683	71,056,116	1,650,806
	内利用料金収入	20,982,002	15,327,513	470,450
	内指定管理料	63,847,000	53,153,000	1,140,000
	支出	80,525,667	69,328,404	1,704,845
	収支	4,134,016	1,727,712	▲ 54,039
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	若干不備あり	
	○屋外体育施設 ・体育施設の維持管理については、前指定管理者から引き継ぎ、清掃・修繕等は、適切に行われている。 ・台風15号の豪雨災害により星ヶ台管理事務所を閉鎖した際には、速やかに対応し、星ヶ台競技場及び総合体育館を代替の窓口として利用者へのサービスが低下しないように配慮した。 ・職員研修はアルバイトも含め、全社員に対し積極的に行っている。 ・利用者アンケート調査については、笠原体育施設以外は行われていない。 ・自主事業については、目新しい事業は見られない。 ○指定公園 ・指定公園全体として施設の維持管理は、適切に行われている。 ・専門業者による遊具の点検結果をうけ、危険性のあるものを指定管理者にて利用を停止とするなど、主体的に事業執行していることは評価できる。今後、簡易な修繕等については施設管理者が迅速に対応していくよう事業執行体制の確立に努めてもらいたい。	・これまでの総合体育館に加え、公園・屋外体育施設をあわせて市のスポーツ施設を総合的に管理運営することとなった第二期指定管理期間の初年度としては、全体的には従来どおり堅実な運営を行っている。 ・指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努めている。台風15号の豪雨災害により星ヶ台管理事務所を閉鎖した際には、速やかに対応し、星ヶ台競技場及び総合体育館を代替窓口として利用者へのサービスが低下しないように配慮した。 - また、職員研修はアルバイトも含め、全社員に対し積極的に行っている。 ・施設修繕は小規模なものは速やかに対応している。 ・経理、利用実績の数値は、前年度と比較して、全体的に減少している。	今年度より、前指定管理者から引き継いで管理運営を行っている。 ・施設の受付、整備については、通常は有償ボランティアが交代で対応し、適正に行われている。 ・指定管理者制度について十分認識されているとはいえない部分があり、市に頼る傾向が見られる。 ・指定管理初年度ということで、管理運営方法での若干の戸惑いが見られるが、施設の利用向上のための課題を把握して関係機関への働きかけや利用者の意見を反映させるべく方法を市とともに検討している。	
利用人数・前年度比増減率	延べ211,542人 (前年度比19.1%減) ※指定換えにより追加となった笠原運動場・公園分を加えたH22年度数値による比較	延べ157,900人 (前年度比1.6%減) ※昭和体育館(H22年度末廃止)の利用人数を除いたH22年度数値により比較	延べ2,100人 (前年度比13.1%増)	
増減の理由	岐阜市の施設が国体工事のため代替として昨年増加した星ヶ台競技場が減少したことによる。	4ヶ月間利用を停止した第2競技場が減少したことによる。	施設の周知度が低く、地元の利用が少ないことによる。	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	笠原中央公民館		図書館笠原分館	笠原体育館
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団			
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)			
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。
報告書類等の提出状況	良好			
運営・利用状況	利用状況	良好		
	市事業の実施	期待以上	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好		
	備品管理	良好		
	その他管理	良好		
収支状況(円)	総収入	117,176,685		
	内利用料金収入	8,157,480		
	内指定管理料	99,974,000		
	支出	115,697,625		
	収支	1,479,060		
市民利用者の声の反映	良好			
全体的評価	良好			
	○中央公民館 ・視聴覚室の設備を充実させたことで利用の幅が広がり、利用料は前年比138.2%となった。 ・全体の利用料では前年比78.7%となり、減少の大きな要因は11月からのホール利用が減ったことが考えられるが、今年度の利用料収入の額は、第1期指定管理期間のほぼ平均値であった。 ・笠原地区の地域性を十分活かした事業を実施することができた。 ○図書館分館 ・定期的に企画展に取り組み、「いつも新しいことが発見できる」図書館を目指すことができた。 ・中央公民館や体育施設と図書館職員と連携し、図書館から施設の取り組みを発信するようにしている。 ・子育て支援センターにおいて、図書館笠原分館で開催している「おはなしの会」をボランティアと連携して実施し、定期的なおはなしの会を開催することができた。 ○体育館 ・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズ事業展開を心掛けるとともに、苦情にも真摯に対応している。 ・安全性、機能性の観点から設備等の修繕を迅速な対応ができた。 ・事業展開を見直して新しいプログラムを提供することによりトレーニング室の利用者を増加させた。			
利用人数・前年度比増減率	延べ42,511人 (前年度比2.1%増)	延べ12,409人 (前年度比9.7%増)	延べ71,717人 (前年度比2.6%増)	
増減の理由	会議室の定期利用者が増加したため。	とくになし	とくになし	

H23年度総合評価(くらし人権課所管施設)		
施設名		市民活動交流支援センター
指定管理者名		(財)多治見市文化振興事業団
指定期間		4年(H22/4/1～H26/3/31)
設置目的		市民が自発的に行う公益性のある活動で営利を目的としないものの実施に係る市民交流の場を設け、もって市民活動を支援するとともにその健全な発展の促進に寄与することを目的とする施設。
報告書類等の提出状況		良好
運営・利用状況	利用状況	良好
	市事業の実施	良好
	自主事業	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好
	備品管理	良好
	その他管理	良好
収支状況(円)	総収入	5,438,676
	内利用料金収入	－
	内指定管理料	5,398,000
	支出	4,930,107
	収支	508,569
市民利用者の声の反映		良好
全体的評価		良好
	NPO実態調査及びコーディネート事業を行うことにより、市民活動交流支援センターとしての機能が確立された。	
利用人数・前年度比増減率		延べ5,193人 (前年度比2.6%減)
増減の理由		とくになし

H23年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	大原児童館	本土児童館	共栄児童館	旭ヶ丘児童センター	根本児童センター	
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	2年(H23/4/1～H25/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	若干不備あり	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	10,176,526	10,237,581	10,975,750	10,944,405	10,981,288
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,571,000	9,076,000	10,789,000	10,278,200	10,145,000
	支出	10,176,526	10,237,581	10,882,993	10,944,405	10,981,288
	収支	0	0	92,757	0	0
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価	良好	良好	良好	良好	良好	良好
	協定書に基づき、事業を適正に執行している。指定管理者が変わって一年目であったが、参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。来館者数の増加、参加者の満足度、地域との連携など、全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。来館者数の減少は見られたが、地域との連携など全体的には、概ね良好である。	施設管理業務の清掃回数に若干の不足があるが、概ね、協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的には、概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ27,697人 (前年度比1.1%減)	延べ22,765人 (前年度比7.1%増)	延べ16,145人 (前年度比37.3%減)	延べ28,419人 (前年度比11.6%減)	延べ37,720人 (前年度比6.1%増)	
増減の理由	とくになし	小学生・中高生の利用数は減少したものの、乳幼児親子のクラブの実施回数増加で参加が多かったことによる。	下校時の児童館立ち寄りがなくなったため、立ち寄り児童や保護者の利用数が減った事が利用人数減の要因となったと考えられる。	とくになし	事業の充実により小学生の利用が増加したことによる。	

H23年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	坂上児童館		中央児童館	笠原児童館	市之倉児童センター	脇之島児童センター
指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好		良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	若干不備あり	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好	良好	良好
	施設管理状況	良好	良好	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	若干不備あり
	収支状況(円)	総収入	9,571,250	9,571,250	13,360,744	9,571,250
収支状況(円)	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,571,250	9,571,250	13,360,744	9,571,250	9,571,250
	支出	9,924,875	10,466,293	14,558,053	10,232,766	10,849,361
	収支	▲ 353,625	▲ 895,043	▲ 1,197,309	▲ 661,516	▲ 1,278,111
市民利用者の声の反映	若干不備あり		良好	良好	良好	良好
全体的評価	若干不備あり		良好	良好	若干不備あり	若干不備あり
	協定書に基づき、概ね適正に執行されていたが、指定管理受託当初、職員が児童館運営に不慣れがあった。この苦情に係る、市の改善勧告に対し、回答が半年以上を要した。		協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的には、概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的には、概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。地域との連携について、年度当初は、お互い慣れない部分があったが、年度途中より地域との連携も以前に近いかたちでとれるようになった。参加者の満足度も概ね良好であったが、地域との連携不足があり、事業等への参加者の減少につながった。	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・参加者の満足度、地域との連携など全体的には、概ね良好である。 ・職員の異動が多く、現場の混乱を招き、利用者との信頼関係構築を妨げた。
利用人数・前年度比増減率	延べ17,318人 (前年度比38.1%減)		延べ16,051人 (前年度比43.1%減)	①笠原児童館 延べ21,738人 (前年度比7.7%減) ②親子ひろば 延べ4,951人 (前年度比69.5%減)	延べ14,505人 (前年度比31.1%減)	延べ24,766人 (前年度比8.8%減)
増減の理由	前指定管理者の人数のカウント方法の違いと考えられる。カウントの仕方の統一を図る。		前指定管理者の人数のカウント方法の違いと考えられる。カウントの仕方の統一を図る。	児童館と親子ひろばの両方を利用する者について、両施設でカウントしていたのを、重複してカウントしなくなったことによる。	全体的に利用人数が減少した。特に、乳幼児と大人は減少幅が大きいことによる。	乳幼児の利用人数は増加しているが、小学生、中学生及び大人の利用人数が減少していることによる。

H23年度総合評価(子ども支援課所管施設)					
施設名	発達支援センターなかよし		発達支援センターひまわり	池田保育園	旭ヶ丘保育園
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会		(福)多治見市社会福祉協議会	(福)いしずえ会	(福)前畑育英会
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)
設置目的	発達に支援を必要とする児童に対し、通所により、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等並びに相談及び検診を行い、その自立を支援する施設。		保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とする。		
報告書類等の提出状況	良好		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好		良好	良好
	市事業の実施	良好		良好	良好
	自主事業	良好		—	—
施設管理状況	施設管理	良好		良好	良好
	備品管理	良好		良好	良好
	その他管理	良好		良好	良好
収支状況(円)	総収入	40,988,316		117,976,255	132,983,903
	内利用料金収入	—		4,742,804	5,544,390
	内指定管理料	40,805,000		109,475,760	104,524,000
	支出	42,626,454		118,045,677	127,058,620
	収支	▲ 1,638,138		▲ 69,422	5,925,283
市民利用者の声の反映	良好		良好	若干不備あり	良好
全体的評価	良好		良好	若干不備あり	良好
	・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。		・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。	食育への取り組みや、障がい児保育にあっては、障がいや弱さを持った子だけを集めた「保育」の実施という視点にとどまることなく、一人の入所児としてみな同じクラスでの生活を保障した保育を実施されていると評価する。一方で、事故や苦情への対応については、保護者に対する説明を十分に行う必要があると感じる。また、昨年度の事業評価において「来年度の管理運営(事業執行)に対する要請事項」に記載したとおり、多治見市として取り組んでいる事業や園児と小中学生の交流事業にも積極的に取り組んでいただきたい。	指定管理2年目となり、保育環境を向上させるため、職員の配置、畑の改修など環境整備などを行い、保育を実施されている。保育の質を維持向上させるため、保護者からの意見聴取およびその対応、正規職員の配置や資質向上に配慮されており、この状況を継続し運営していただくことを期待する。
利用人数・前年度比増減率	延べ4,903人 (前年度比4.6%増)		延べ3,631人 (前年度比7.1%増)	延べ1,202人 (前年度比8.7%増)	延べ1,641人 (前年度比7.0%減)
増減の理由	とくになし		とくになし	低年齢児の入所希望が多くなっていることによる。	平成22年度定員に対し92%程度であったものが、平成23年度定員に対し86%程度の入所となったことによる。

H23年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)				
]		総合福祉センター	サンホーム滝呂	ふれあいセンター姫
指定管理者名		(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的		児童、老人、障がい者、母子家庭等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	112,969,305	33,250,271	33,272,734
	内利用料金収入	—	1,674,340	1,441,570
	内指定管理料	107,937,200	31,550,000	31,818,000
	支出	102,258,694	37,778,823	31,943,862
	収支	10,710,611	▲ 4,528,552	1,328,872
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価	良好		良好	良好
	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・駐車場の不足への対応について、日頃から近隣事業所との協力態勢により利用者ニーズに込えている。 ・実施事業については課題に認識や利用状況の分析により、改善・工夫して実施されている。		・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・事業収支が赤字決算になっていることについては、児童センター・老人センターに配置される多治見市社会福祉協議会の個々の職員の人件費に左右されるため、1施設として把握するのではなく、多治見市社会福祉協議会が担う指定管理施設全体をみる必要がある。全体では黒字であるとの報告を受けている。 ・地域の人材を各種事業にうまく取り入れながら事業展開し、また関係機関と連携をするなどし、地域の拠点施設としての役割を果たしており評価できる。	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・北小木町などの地区にも目を向け、移動老人センターなどを実施し、既存施設の維持にも目を向けていただいていることは評価できる。 ・老人センターや児童センターの事業についても経験豊富である。現状に満足するのではなく、内容の濃い事業を展開することや、ヤングオールド世代に向けた新たな発信ができるような事業展開を期待する。
利用人数・前年度比増減率		老人福祉センター：65,256人（59,186人前年度比10.3%増） 障害者福祉センター：4,756人（5,061人前年度比6.0%減） 児童センター：46,072人（46,616人前年度比1.2%減） 母子福祉センター：5,241人（5,363人前年度比2.3%減） 会議室：38,165人（37,478人前年度比1.8%増）	老人センター：26,531人（前年度比4.6%増） 児童センター：27,121人（前年度比9.9%減） 総合計：54,207人（前年度比3.5%減）	老人センター：12,298人（前年度比5.4%増） 児童センター：24,740人（前年度比12.0%減） 合 計：37,246人（前年度比7.4%減）
増減の理由		老人福祉センター利用者の増加による。	老人センター：イベント回数が増加したこと、人気の講座があるなどしたことによる。 児童センター：利用人数のカウント方法変更による。（重複カウントしない方法に変更）	老人センター：各教室への参加者が増加。ニーズの把握から人気の教室ができたりと利用者の増加につながったことによる。 児童センター：原則家に帰ってランドセルを置いてから来館することが徹底されたこと、児童数が減少していることによる。

H23年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)				
施設名	かさはら福祉センター		高齢者能力開発研修センター	
指定管理者名	(社)多治見市シルバー人材センター		(社)多治見市シルバー人材センター	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)		5年(H22/4/1～H27/3/31)	
設置目的	老人、障がい者等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。		高齢者に就業の機会を提供するとともに、高齢者の生きがい活動を推進するための施設。	
報告書類等の提出状況	良好		良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	
	自主事業	—	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	25,239,000	2,596,000	
	内利用料金収入	—	—	
	内指定管理料	25,239,000	2,596,000	
	支出	24,818,024	2,426,679	
	収支	420,976	169,321	
市民利用者の声の反映	良好		良好	
全体的評価	若干不備あり		良好	
	・節電に努め、省エネを実践している。 ・事業は医療機関、地域福祉協議会と連携し、高齢者のニーズに応えている。 ・小規模修繕について、協議の上、実施されている。 ・前年度指示事項となっていたホームページ作成が未着手。		協定書に基づき、事業を適正に執行している。指定管理料が年間2,596千円で、施設管理上修繕が多発すれば管理運営業務担当者賃金(担当者1名のシルバー事業との按分1:12)相当額も充てることができず赤字になってしまうことは認識している。このような厳しい予算の中で事業を適正実施していることは評価できる。	
利用人数・前年度比増減率	延べ21,655人 (前年度比5.7%減)		延べ3,466人(相談者等を含む。) (前年度比19.8%減)	
増減の理由	一般利用者の減少による。(集会室等の利用は増加)		シルバー人材センターの登録者数が減っているなどによる。	

H23年度総合評価(産業観光課所管施設)				
施設名	勤労者センター		文化工房	産業文化センター
指定管理者名	(財)多治見市事業公社		(株)共栄電気炉製作所	(株)ビーウェル
指定期間	3年(H21/4/1～H24/3/31)		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	勤労者の福祉の増進を図るための施設。		ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	—	—	良好
	自主事業	良好	期待以上	若干不備あり
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	8,664,000	21,685,613	74,098,715
	内利用料金収入	—	1,171,585	12,375,190
	内指定管理料	8,664,000	17,725,000	61,000,000
	支出	8,061,259	22,004,354	72,250,036
	収支	602,741	▲ 318,741	1,848,679
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価	良好		良好	良好
	概ね良好である。 施設も常にきれいに管理されており、施設運営に関し前向きな姿勢をもち取り組んでいる。		全国の著名な陶芸家を招いて精力的に企画展を開催しており、ギャラリーとして高い水準を維持している為、やきもののまち多治見の観光拠点の一つとして有効に機能している。	全体的に適正に管理がされている。
利用人数・前年度比増減率		延べ23,435人 (前年度比3.1%減)	延べ21,917人 (前年度比0.9%増)	延べ84,211人 (前年度比5.6%増)
増減の理由		とくになし	ギャラリー入場者の増加による。	会議室等の利用人数の増加による。

H23年度総合評価(道路河川課所管施設)			
施設名	土岐川観察館		駐車場
指定管理者名	河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ		(財)多治見市事業公社
指定期間	5年(H21/4/1～H26/3/31)		3年(H21/4/1～H24/3/31)
設置目的	土岐川の自然及び文化を活用し、市民の土岐川に対する関心を高めることにより、親しみのある河川づくり及び河川環境の保全を図ることを目的とした施設。		道路環境を整備し、交通に係る事故の防止と交通の円滑化を図り、かつ利用者の利便の増進に資するため。
報告書類等の提出状況		良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	—
	自主事業	—	—
施設管理状況	施設管理	良好	良好
	備品管理	良好	良好
	その他管理	良好	良好
収支状況(円)	総収入	17,523,337	63,610,500
	内利用料金収入	—	—
	内指定管理料	17,496,200	63,610,500
	支出	16,547,333	62,687,320
	収支	976,004	923,180
市民利用者の声の反映		良好	良好
全体的評価	良好		良好
	職員は、指定管理となる以前から土岐川観察館の管理・運営に携わっているため、事業内容にも熟知しており、積極的な活動を行っている。 施設内の清掃・メンテナンスは常に行われている。屋外で活動する際には、安全面を重視し実施している。 職員数が限られているため、年間活動にも限界はあるが、関係機関(市民団体、自然団体、関係行政機関等)とのパイプが太いため、協働して実施できている。 今後も、土岐川流域を 中心とした自然を体験できる活動拠点として、実施運営に期待する。		・各駐車場施設における管理運営は良好である。 ・事故の対応については迅速で適切な処理がなされている。 ・管理運営に関する状況説明や対応方法など、常日頃から担当課と連絡を取りあう姿勢がみられる。
利用人数・前年度比増減率	延べ8,995人 (前年度比1.5%増加)		○自動車 一般利用:95,690件(前年度比4.1%増) 定期利用:92,932件(前年度比7.0%減) ○自転車 一般利用:1,779件(前年度比23.7%減) 定期利用:3,541件(前年度比7.5%減)
増減の理由	とくになし		自転車については駅北の無料駐車場に流れたと思われる。特に、豊岡駐車場の利用減少は、施設の耐震補強工事に伴う車室の利用制限と、民間駐車場へ流れたものと思われる。